

県立弘前聾学校のスクール・ミッション及びスクール・ポリシー

スクール・ミッション（各校の求められる役割、目指す学校像）
○一人一人の障がいの状態等に応じて、その時に最も必要な教育を行うとともに、学んだことを生かしながら、自立と社会参加に向けて、主体的に学び続ける幼児児童生徒を育てます。 ○家庭や地域、関係機関と連携し、協力して幼児児童生徒を育てるとともに、障がいのある者と障がいのない者が支え合い、認め合える社会の実現に向けた取組を推進します。 ○幼児教育施設、小・中学校、高等学校等とつながり、必要な支援に努めながら、地域の特別支援教育の推進に貢献します。
スクール・ポリシー（一貫性を持って教育活動を進めるための具体的な3つの方針）
【グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）】 次のような資質・能力を有する幼児児童生徒の育成を目指します。 ○健康と安全に気を付けて生活するこども ○感性豊かで、夢や希望をもって挑戦しようとするこども ○多様なコミュニケーション手段を用い、互いに伝え合い分かり合おうとするこども ○思いやりと協力の心をもって、自ら進んで活動するこども ○主体的に学習に取り組み、よく考え自分で問題解決を図ろうとするこども
【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）】 次のような教育活動を実施します。 ○こども一人一人の教育的ニーズに応じた学習活動の充実 ・こども一人一人が『夢をもってたくましく挑戦できる』ように、「分かった、できるようになった」と達成感や充実感を味わえるような教育課程を編成します。 ○こどもたちの豊かな学びの充実と地域とともにある学校づくり ・コミュニティ・スクールを通して、地域と学校の連携を図り、地域の人的・物的資源を活用しながら、こどもたちの豊かな学びを実現します。 ・小中学校との交流及び共同学習や交流籍制度を利用した居住地校交流を推進し、協働的な学びを深めます。 ○聴覚障がい教育や特別支援教育の専門性を活かした指導の充実 ・聴覚障がい教育の高い専門性の向上に努め、聴覚障がいを有するこどもたちの自己理解と進路についての意識を育てます。 ・ICTを積極的に活用して、学びのアップデートを行い、主体的・対話的で深い学びを目指した授業を実践します。